



# デジタルワイヤレス補聴援助システム 『ロジャー オン』活用方法

デジタルワイヤレス補聴援助システム ロジャー オンは、雑音の中でも話し手の声を明瞭に広い、互換性のある受信機にダイレクトに音を届けることができるマイクロホンです。3 種類のマイクロホンモードを切り替えることができ、講義場面で教員の音声を拾う・グループディスカッションで参加者の音声を拾う・騒がしい中でも特定の相手の音声を拾うなど、様々な場面で活用することができます。また、複数台を同時に接続して利用することも可能です。

本シートでは、大学での様々な利用場面を想定した接続の流れと、活用方法について簡単に説明していきます。詳細はフォナックホームページをご覧ください。



## 1. ロジャー オンと受信機の接続(ペアリング)方法

最初に、補聴援助システムを利用する聴覚障害学生が、以下の方法のうちどのようにロジャー オンからの音声を聞くことができるかを確認しましょう。

- ・ロジャーシステムに対応している補聴器や人工内耳の場合には、補聴器との接続(ペアリング)をすることで、補聴器から音声を聞くことができます。
- ・T コイルモードのプログラムが入っている補聴器の場合、ロジャー マイリンクまたはロジャー ネットワークを受信機として利用し、補聴器を T モードに切り替えることで音声を聞くことができます。
- ・補聴器を利用していない場合には、ロジャー マイリンクまたはロジャー ネットワークを受信機として利用し、オーディオ端子にヘッドホンを繋いで音を聞くことができます。

ロジャー オンと受信機の接続の流れは以下の通りです。

- ① ロジャー オンと、接続する受信機の電源を入れます。
- ② ロジャー オンの背面にある「接続ボタン」を押し、受信機と 10cm 以内の位置に近づけます。
- ③ 受信機でマイクから拾っている音が確認できれば接続完了です。ロジャー オンのディスプレイにも接続完了を示すアイコンが表示されます。

これで利用の準備はできました。



## 2. ロジャー オンで切替可能なマイクロホンモード

ロジャー オンでは3種類のマイクロホンモードを切り替えて利用することができます。マイクロホンモードはディスプレイに表示されるアイコンで区別することができます。それぞれのアイコンと集音の特徴を説明します。



### 【プレゼンターモード】

ロジャー オンを口元から 20cm 以内の位置になるように、クリップで身につけるか、ネックストラップを使って首から下げて位置を調整して使用します。授業中の教員や発表する学生など、マイクロホンをつけている話者の音声を拾って受信機に届けます。



©PEPNet-Japan



### 【インタビューモード】

ロジャー オンを話し手に身につけてもらうことが難しい場合に、聞き取りたい相手の方向にマイクを向けることで指向性(マイク集音方向の切り替え)が働き、向けた先の声を拾うことができます。話者が複数人交代する場合や、利用者がマイクロホンを持って特定の人の声を拾いたい時などに利用すると良いでしょう。



©PEPNet-Japan



### 【卓上モード】

複数人での会話の場面で、参加者の中心に平置きにして利用します。発言した人の方向に集音方向が自動的に切り替わります。専用アプリ(\*1)を使用することで、ロジャー受信機を使用している人の手元でマイクロホンの集音方向を切り替えることもできます。



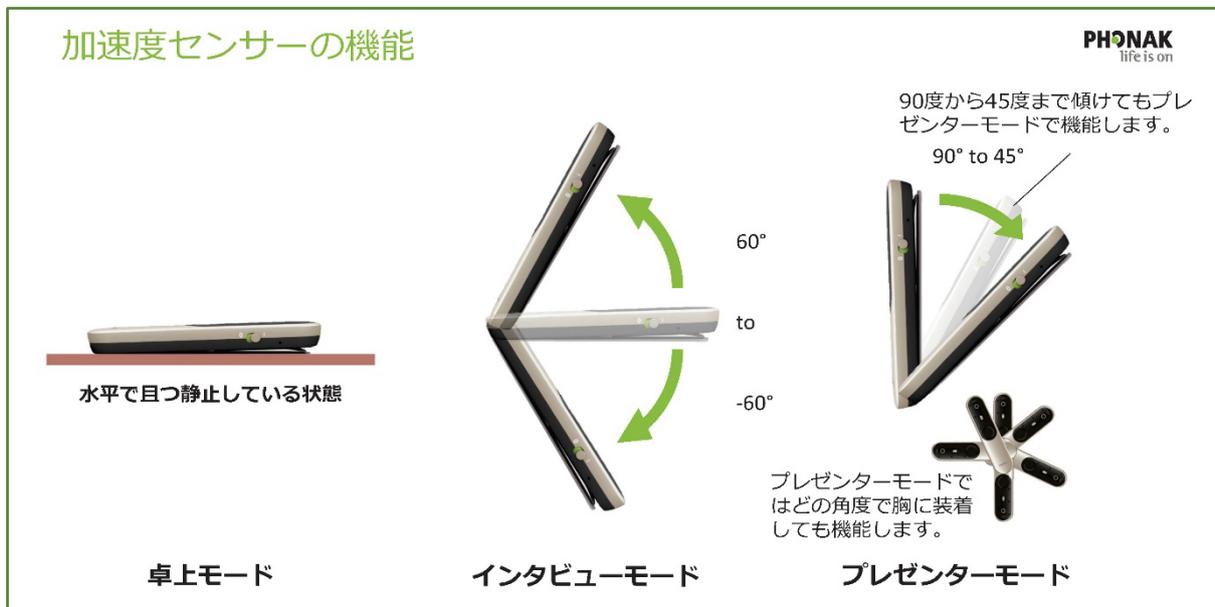
©PEPNet-Japan

(\*1)専用アプリ「マイロジャーマイク アプリ」はフォナックホームページからダウンロードしてご利用ください。アプリを使用した操作方法についても、同ページに記載されています。

<https://www.phonak.com/jp/ja/%E8%A3%9C%E8%81%B4%E5%99%A8/%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA/myrogermicphonak-app.html>

マイクロホンモードは、内蔵の加速度センサーがマイクの角度を検出して、自動で切り替わります。各モードが適応される角度については、下の図をご参照ください。

特定のモードに固定したい場合には、ボタン操作でモードを設定し、固定(ロック)して利用することもできます。

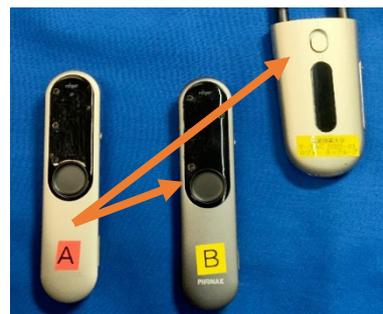


画像提供:ソノヴァ・ジャパン株式会社

### 3. ロジャー オンを2台以上同時に使用する場合の接続(ペアリング)方法

ロジャー オンは2台以上を同時に接続(ペアリング)して使用することも可能です。接続する際には、ロジャー オンの1台を親機にして、他の端末を「親機の接続ボタン」を操作して他の機種を接続します。

右の写真の例では、A のロジャー オンを親機にしています。A の「接続ボタン」を操作し、B のロジャー オンと受信機を順番に接続しています。

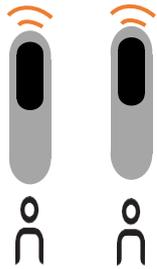




## 4. ロジャー オンを2台以上同時使用時のマイクロホンモード

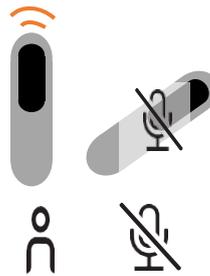
2台以上接続している時には、1台だけで使用する場合と異なるマイクロホンモードの切り替わりの特徴があります。それぞれのマイクロホンモードと、集音状況についてまとめます。

### 2台ともプレゼンターモードで利用



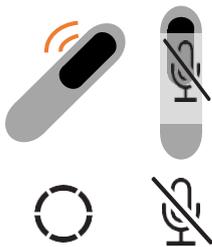
【集音状況】それぞれのマイクロホンから集音可能。ただし、同時に発話した音声を聞き分けることはできず、大きな音声が優先して取得されるため、1人ずつ発言する必要がある。

### 1台プレゼンターモード、1台ミュート



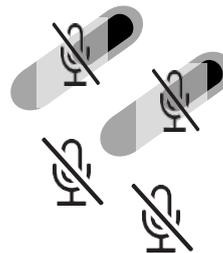
【集音状況】平置きにしたマイクロホンは自動的にミュートに切り替わるため、プレゼンターモードで使用しているマイクのみ集音可能となる。

### 卓上モードとプレゼンターモードで利用



【集音状況】平置きにしたマイクロホンの操作ボタンで卓上モードに切り替え、360°方向の音声を集音。プレゼンターモードで使用していた1台は、自動的にミュートに切り替わる。

### 2台とも平置きの状態



【集音状況】2台とも自動的にミュートに切り替わる。マイクロホンを持ち上げ、プレゼンターモードまたはインタビューモードに切り替わると、集音が再開される。



## 5. ロジャー オンを2台以上同時活用する場面の例

マイクロホンモードを切り替えながら2台以上のロジャー オンを同時に活用できる場面について、例を挙げて説明します。

### ①2台とも「プレゼンターモード」で利用する場合

#### 活用場面

- ・ゼミ場面で、教員と発表担当の学生に身につけてもらい、両方の音声を取得する。
- ・質問者が複数いる場合に、順番に手に持って発言してもらう。

#### 操作方法

ロジャー オンを話者がクリップで身につけるか、ネックストラップを使って首から下げて使用します。

または、ロジャー オンを手に持ち、90°～45°の角度で持って使用します。

両方のマイクから集音できている場合のディスプレイ表示は、プレゼンターモードのアイコンが1画面に2つ表示されます。



### ②1台を「卓上モード」で利用する場合

#### 活用場面

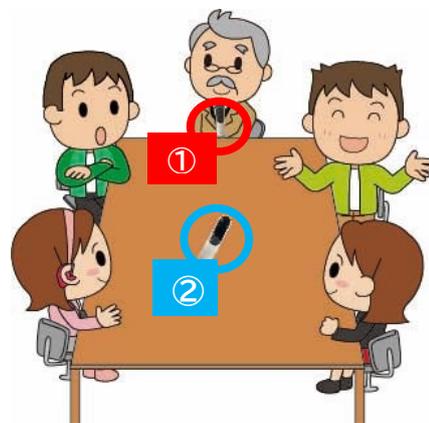
- ・講義とディスカッションが交互に展開される場合
- ・特定の方向からの音声聞き取りにくい場合

#### 操作方法

教員のロジャー オン(①)は身につけたまま、ディスカッションが始まった時に聴覚障害学生の手元にあるロジャー オン(②)のモードをボタン操作で「卓上モード」に切り替えます。同時に教員のロジャー オン(①)は自動的にミュート(集音しない)に切り替わります。グループの中心にロジャー オンを置くことで、360°方向の集音が可能になります。再び教員の話に戻った場合には、②のロジャー オンを「卓上モード」からミュートに切り替えて使用します。

★右図のように、教員にはロジャー オン(①)を身につけてもらったまま、聴覚障害学生の手元のロジャー オン(②)を操作することで、「卓上モード」への切替ができます。

ディスプレイ表示は、右が卓上モードを選択している状態、左はミュート状態を示しています。



©PEPNet-Japan





### ③1台プレゼンターモード・もう1台を平置きの状態、および2台とも平置きの状態

#### 活用場面

- ・ロジャー オンからの集音が不要な場合
- ・ディスカッションまで1台は使用しない場合

#### 操作方法

ロジャー オンは平置きの状態にすると、自動的にミュートに切り替わります。平置きの状態から「卓上モード」に切り替える場合には、ボタン操作で切り換えることができます。平置きでミュート状態になっている場合には、ロジャー オンを持ち上げるとプレゼンターモードまたはインタビューモードに切り替わり、集音が再開されます。

プレゼンターモードの途中でミュートに切り替えたい場合には、ボタンを2秒間押すとミュートになります。

ミュート状態のディスプレイには、マイクに斜線がついたアイコンが表示されます。上の画像は 2 台とも平置きでミュートになっている状態を、下の画像は右が「プレゼンターモード」で集音中、左がミュートの状態を示しています。





## 6. プレゼンターモードで集音するためのマイク装着方法

ロジャー オンの集音マイクは、黒いディスプレイの周辺に配置されていますので、ディスプレイが外側に出るように装着して使用します。プレゼンターモードで利用する場合には、きちんと集音ができる装着方法でご利用ください。

### 正しい装着方法



①ストラップを使い、首から下げる



②裏のクリップで胸元に装着する



③裏のクリップで胸ポケットに装着する

### 誤った装着例



マイクが配置されているディスプレイ面が内側になっていたり、完全に隠れていると、声の集音ができなくなるとともに、布擦れの音がノイズとして入るため聞き取りが困難になる



マイク位置が上下逆になることで、集音範囲が声から離れた位置となってしまう、聞き取りが困難となる



## 7. ロジャー オンの接続をすべて切断する方法

使用后、ロジャー オンと接続中のすべての機器との接続を切断する場合は、接続ボタンを 8 秒以上長押しします。ディスプレイに右のアイコンが表示されると、全ての機器との接続が解除されています。



この他、パソコンとの接続(外部入力モード)や詳細な操作方法につきましては、フォナックホームページ内、ロジャー オンの取扱説明書やクイックガイドをご参照ください。

<https://www.phonak.com/jp/ja/%E8%A3%9C%E8%81%B4%E5%99%A8/%E3%82%A2%E3%82%AF%E3%82%BB%E3%82%B5%E3%83%AA%E3%83%BC/roger-on.html>

本シート作成にあたり、ソノヴァ・ジャパン株式会社のご協力を頂きました。

- 発行日：2022年8月1日
- 編集：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局
- 発行：筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター  
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15 TEL/FAX 029-858-9438  
E-mail:pepj-info@pepnet-j.org URL <https://www.pepnet-j.org>

※本事業は、筑波技術大学「聴覚障害学生支援・大学間  
コラボレーションスキーム構築事業」の活動の一部です。



国立大学法人  
筑波技術大学

PEPNet-Japan